

会議記録

会 議 名	令和6年度（2024年度）第2回八王子市博物館協議会	
開 催 日 時	令和6年（2024年）11月8日（金）午後6時00分～午後8時20分	
開 催 場 所	コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市こども科学館）2階・講座室	
出席者	委 員	大畑静佳、大森映子、長田晶、鎌倉佐保、菊池由紀子、國方則和、進藤哲央、中島美恵、馬場憲一（敬称略・50音順）
	事 務 局	叶清文化財課長兼郷土資料館長、飯塚由則こども科学館長、鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、高野淳文化財課課長補佐兼主査、石田勇次こども科学館主査、清水雅生こども科学館主査
欠 席 者	（委 員）深澤靖幸 （事務局）なし	
議 題	(1) 令和6年度（2024年度）八王子市こども科学館及び郷土資料館事業（4～8月期）実施状況について (2) 八王子市こども科学館事業運営計画（2019年度～2023年度）の更新の再延長について (3) その他	
公開・非公開の別	公開	
傍 聴 人 の 数	0名	
配 付 資 料 等	1. 会議次第 2. 【資料1】令和6年度（2024年度）こども科学館事業（4～8月期）実施状況 3. 【資料2】令和6年度（2024年度）郷土資料館事業（4～8月期）実施状況 4. 【資料3】八王子市こども科学館事業運営計画（2019年度～2023年度）の更新の再延長について 5. その他（企画展チラシ等）	

会 議 の 内 容 (要 点 記 録)	【開会】 (事務局職員による開会の宣言) 事務局 冒頭御紹介がございます。前回までお務めいただきました山中委員が退任をされ、その後任として、市立小学校副校長会から御推薦をいただいた清水小学校の中島美恵副校長先生に御就任いただいております。 (辞令書交付、中島委員挨拶) 事務局 また、事務局にも人事異動がありましたので御紹介します。10月9日付で、こども科学館の高山徹主査が、市民部由木地域事務所に転出し、後任として清水雅生主査が、同事務所から着任しております。 (清水主査挨拶) 事務局 会議の議長は、八王子市博物館協会条例第5条第1項の規定により会長と定められておりますので、以降は鎌倉会長に進行をお願いします。 鎌倉会長 本日の会議には10名の委員のうち、現時点で8名が出席しておりますので、八王子市博物館協議会条例第5条第2項の規定により会議は成立しております。 【議題】 1. 令和6年度(2024年度)こども科学館及び郷土資料館事業(4～8月期)実施状況 鎌倉会長 まず議題(1)について、事務局から説明願います。 — 事務局職員による説明 — 鎌倉会長 質問や御意見はいかがでしょうか。 進藤委員 博物館実習の受け入れのトップに京都芸大とありますが、夏休み中の帰省か何かを利用した受け入れですか。 事務局 条件としては、市内にお住まいか、学校が市内であるというところですが、この方は八王子市出身で、今は京都の学校に行っているということです。 國方副会長 こども科学館の入館者数の要因の中で、猛暑の影響という説明がありました。確かに暑いので、言葉は悪いですが
----------------------------------	---

	涼みに来ていらっしゃるというニュアンスだと思ったのです。それは、どこも一緒なはずで、その中で足を運んでくださったというのは、きっと何か要因があるのかと。一過性の要因で増えたというのではなく、継続させるためには、真の要因は何なのかを知っておきたい。そこをもう少し掘り下げられるといいかと思いました。
事務局	一番は、プラネタリウムの『ドラえもん』の新番組が大きいと思います。ご紹介させていただいたとおり、かなりの観覧者がいますので、猛暑と、コロナも令和2年、3年、4年と少なかったものが、5年度からはかなり回復して、今年度はほぼ影響がなくなったというところで、今までこちらに来られなかった方に来ていただいている。その結果、多くの方に来ていただいたと考えております。
國方副会長	反動という言い方は変かもしれないけれども、そこからさらにリピートにつながるように、こども科学館に行くと、こんな楽しいものが毎年体験できるというふうにつながるというなと思いました。
事務局	郷土資料館ですが、教育連携のところで、文化学園大学の協働型課題解決ワークショップという御説明がありました。やっていることは分かったのですが、課題解決とは、どういった課題に対してアプローチをしようとしているのか、補足いただけますか。
事務局	郷土資料館で企画したものではなく、八王子観光コンベンション協会が毎年大学と連携して、今回は日本遺産をテーマに開催し、はちくにお越しいただいたということです。八王子も、人は都心のほうに流れてしまって、中心市街地もなかなか活性化しない、観光客を増やしたいといった課題の解決ということで、協会が設定したものです。
國方副会長	地域課題の解決に博物館が協力していく、非常に有意義だと思っていて、単に資料をお見せするとか、楽しんでもらうというものに加えて、非常にいい取組だと思ったので確認してみました。
鎌倉会長	入館者数の増は『ドラえもん』が大きいのかなと思っていましたが、やはり強いですね。コラボ企画といいますか、いろいろな形で連携し、それが入館者数の増につながっているのは素晴らしいと思いました。
馬場委員	説明を伺って、非常に人数が増えている。活動も非常に活発だということがよく分かりました。ただ、猛暑で増えたというところに違和感を覚え、気になりましたが、事業実施に伴って単純に人が来ればいいということではなく、

	来た人がどういうことを学習したのかということが大きな効果になると思います。そういうことに対しての報告はなかったが、アンケートを取っていたり、来館者に対して何か評価のようなものを行っているのか伺いたい。 事務局 イベントに関しては、例えばここに書かれているものと、相場先生やロボットプログラミング体験に挑戦しよう、これはクレファスという民間企業と連携していますが、こども科学館が主体的にアンケートを取るというのではなく、団体で取っている場合もあります。ただ、こども科学館で行っている科学工作教室の中で、メインの科学工作教室ではアンケートを取っており、非常に満足、満足というものを合わせて、95 パーセント以上の方が満足という結果が出ています。 馬場委員 こども科学館としてアンケートを取っているということですね。もしできれば数字で、それがどこまで評価できるか分からないけれども、そういうものも挙げられると、説得力があるのではないかと思います。 事務局 もう一つ、こども科学館では工作教室などいろいろなイベントをやっていますね。これらを企画されているのは、非常勤の専門の方ですか。 事務局 毎週土日と、学校の夏休み、冬休み、春休みに、毎日、科学工作教室をやっていますが、これらは、自然科学系の学芸員資格を持った会計年度任用職員専門職3名で対応しています。 馬場委員 説明の中でロボット科学教室というのがあって、株式会社が行っていると。こうした協力を得るのは、専門職の方が情報を得て、プログラムを編成しているということですか。 事務局 このイベントは、クレファスというロボット科学教育を行う企業のほうから声が掛かり、実現したものです。特に今年度は、民間企業に限らず、施設や大学などから声を掛けてもらって実施しているイベントが多いです。いろんなところと連携することによって、幅広いイベントができるので、そういった方法をより重要視し、連携事業に取り組んでいるところです。 大森委員 入館者数の増は非常にいい傾向にありますが、後から八王子市に編入された地域の方に対してどのような働きかけがなされているのかが気になります。あるいは、そういうところからも積極的に、こども科学館や郷土資料館に足を運んでくれている人たちが増えているのか、データ的に
--	--

	はどのようなのでしょうか。 事務局 こども科学館では、満足度調査は通年でやっておりますが、特にどちらのエリアから来ているという統計は取っていないので、はっきりは分かりません。ただ、コズミックカレッジという、JAXAに協力をいただいている講座ですが、昨年度は生涯学習センター南大沢分室でも実施し、ニュータウン方面など、いろいろなところで開催するようにしています。 大森委員 そういう地域に対する目配りも、1回限りではなく、続けていけると非常にいいことだと思います。特に、こども科学館での様々なイベントに関しては、一度行ってみれば継続につながると思いますので、ぜひきめ細かい形で運営していただけるといいと思います。 事務局 コズミックカレッジは、今年度も3月に南大沢で開催します。 事務局 郷土資料館に限らず、文化財課全体としてのお話ですが、ニュータウン地区の方には、八王子祭りもそうですし、そういったイベントに足を運んでいただくことは永遠の課題だと思っています。働きかけをしないとなかなか実現しない中で、私どもは毎年11月にJ:COMホールで芸能公演、八王子車人形と民俗芸能公演をやっているのですが、令和5年度は南大沢文化会館で開催しました。そちらの人にも、八王子はこういう伝統芸能があるということを知ってもらいたいし、見てもらって、ファンになってリピーターになってもらおうという思いもありました。応募者の属性を見ますと、半分以上が南大沢ニュータウン地区の方で、会場も満席近い、七、八割方埋まりましたし、ニュータウン地区の方に一石を投じたかなと考えています。今年度は、J:COMホールに戻って11月3日に開催したところ、前回より多く、1階が埋まったような状況でした。南大沢の方々がリピーターとしてお越しいただいたかは、つかめておりませんが、今後はそういったものも含めて、新たな取組、足掛かりになるようなことをやっていきたいと思っています。 大森委員 今回の八王子千人同心との関わりも含め、ほかの地域との連携を意識しながらやっていただけると、大変ありがたいと思います。 馬場委員 アンケートもきめ細かく取らないと。文化財課はやっているでしょう。 事務局 はちくでは、通年アンケートを取っておりまして、市
--	--

	民、市外の別や、どんなきっかけで来たか、企画テーマはどうでしたか、といったことを聞いています。
馬場委員	こども科学館のほうは、先ほどの説明でちょっと気になったので、もう少しきめ細かくやったほうがいいのかなと。私も最近いろんなところで情報を得ていると、博物館は、どうしてもやっている人の論理で動いている感じがするんです。来る人の考え方というか、市民の論理みたいなものがあるから、そこをしっかりと押さえながらやるとなると、やっぱりアンケート調査を取らないと難しいのかなと思いました。
菊池委員	郷土資料館の学校団体見学の状況の3番、5月に東京都立八王子盲学校小学部の方たちが5名見えているそうですが、どういう見学、どのような受け入れをされたのか。こういうふうに定期的に来られる、行きやすくなるのは、すごくいいことだと思い、内容をお聞きします。
事務局	八王子盲学校は、上野町に郷土資料館がある頃から近所ということもあって、毎年のようにお越しいただき、楽しんでいただいております。特に、はちはくでは、八王子城と滝山城の投影模型があるのですが、それを実際に触っていただいて、山のお城はこんなものだったというのを知っていただく。昔の暮らしの道具も、実物を触って、使っていただくことで、盲学校の生徒たちにも親しんでいただけるように努めております。
菊池委員	展示されている模型をどこまで触っていいのかなと思いつつも、触れる高さにありますし、盲学校の子供たちは、自由に触って、先生たちがアシストしながら教えてあげる、説明をするということで、見学されているわけですね。
長田委員	こども科学館のアンケートの件で、ポスト型で自由に書けるアンケートがいつも置いてあると思ったのですが。今、馬場委員の話によると、もう少し見やすいというか、体験コーナーのほうから積極的に入り口近くに移動するのも手かなと思いました。
事務局	確かに目立たない場所かもしれません。
長田委員	普通の企画ではアンケートがないと思ったのですが、学芸員が企画したほうは、満足度調査で、すごく丁寧にアンケートを書いている子どもたちを見て、素敵なことだと思いました。満足度調査は、年齢と、希望があればという内容のものでしたよね。
事務局	調査は十数項目ありまして、プラネタリウムの評価や展

	示物の設問、職員の対応の設問があったり、全体的なものがあつたり。去年 200 から 300 人ぐらいの方に回答していただいています。去年は 7 万 6,000 人ぐらい来館していただいているので、そう考えると 200 では少ないと思っており、置き場所を工夫して、もう少しアンケートを書いていただけるようにしたいと思います。
馬場委員	郷土資料館のボランティアですが、かつて上野町にあつた頃に行つて、素晴らしい活動をしていると思つていましたが、紙芝居だけじゃないと分かつて、戦争体験の語りや、絹の道資料館でもやっていますね。ああいうボランティアの人たちをどうやってコーディネートして運営しているのですか。例えば講習会なども、自分たちで定期的にやっているのか。織物のことをよく御存じの方を呼んで、自分たちで研修するような仕組みになっているのですか。
事務局	毎月ボランティアの定例会がありまして、そこで情報共有をしたり、そこで挙がつてきた声を職員が拾い上げて、次の研修に生かしていくということを繰り返しています。
馬場委員	以前はボランティアを定期的に募集していた感じもするけれど、今は募集していないのですか。今は何人くらいいるのですか。
事務局	ボランティア活動が始まつた二十数年前は、1 年ごとに募集して、まとめて育成企画のようなものをやっていたのですが、今は常時募集しており、その都度、個別に対応しています。現在は 20 名を超える方がいます。
中島委員	子どもたちだけで来館するのは、どれぐらい数があるのか気になったのですが。
事務局	こども科学館では、一番多いのが、子どもが小学校低学年以下ぐらいの親子です。
事務局	土曜日が子ども無料の日で、4 歳から中学生まで子ども料金ですが、お友だち同士で来るとするのは、例えば土曜日、その日の来館者が 500 人であつた場合、3 組、4 組ぐらいです。2 人で来たり、3 人で来たり。親御さんと一緒にいらっしゃる方が多いですが、高校生までだと、土日祝日の人数が 500 人だとしたら、10 組ぐらいです。
中島委員	子どもたちが放課後にこういうところに来れば、勉強もできるし、子どもの居場所づくりが地域でも課題になっているところなので、安全面ももちろん踏まえてですが、子どもがうまく利用できるようなになればいいと思つました。
事務局	例えば子どもたちだけの四、五人グループが来る。お昼御飯を買い込んで、朝からほぼ 1 日いるような、まさにこ

	の講座室や隣のスペースで御飯を食べて、また午後プラネタリウムを見る。土日祝日は4本、プラネタリウムを投影するのですが、全部見る子どもたちもいます。 中島委員 素晴らしいですね。広めていきたいと思います。 あと、17歳のボランティアの方がすごく気になったのですが、学校にはなかなか通えないけど、ここならばということですか。それとも放課後に手伝っているということですか。 事務局 先ほど御紹介した男の子は、夜間制の高校に通っていて、昼間活動してもらっています。医者を目指しているのだそうで、医者になるには、患者さんとコミュニケーションが大事で、それをボランティアとして、お客さんとの対話に慣れるという目的でなられた方。もう一人、先ほど写真でちらっと写っていた女性の高校3年生の方は、将来、学芸員を志望していて、先生に、はちあくでボランティアをやってみたらと紹介されて来てくれました。 中島委員 そういう機会があるのは、いいことだと思います。 2. 八王子市こども科学館事業運営計画（2019年度～2023年度）の更新の再延長について 鎌倉会長 それでは議題（2）について、事務局から説明願います。 — 事務局職員による説明 — 鎌倉会長 質問や意見等はございますか。 馬場委員 昨年11月の協議会で1年延ばすと聞きましたが、私も自分でいくつかの施設に行ってみました。直近で行ったのが板橋の教育科学館で、いろいろと面白い活動や取組をやっているのです。そのような中で気になったのは、管理職の方々にいろいろ検討されていいと思うけれども、市の方針を決めていくとき、運営を考えるときには、専門家の意見も聞きながらやったほうがいい検討ができるのではないかと。役所の人たちのみならず、そういう人の意見も聞くなり、検討会の人たちがいろんな科学館を実際に見に行っ 事務局 昨年11月以降の動きとしては、12月にこども科学館の職員であり方を検討することとして、3月までの4か月間館の職員で検討し、報告書をつくりました。それを基に、
--	---

	管理職でのあり方検討会を5月、6月、7月と実施したのですが、プラネタリウムの更新には多額の費用がかかり、これだけお金をかけて更新できるのか、したほうがいいのか様々な意見が出て、今まだ継続中です。一方、入館者数はかなり増えていますので、館としては継続したほうがいいという意見もあって、その中で、市民の方にもアンケートを取ってみようという話になり、今、その方向で進んでいるところです。
馬場委員	よろしくお願いします。ぜひいい方向で進めていただければと思います。
鎌倉会長	馬場委員のご意見は大変重要なところだと思います。今回、延長ということで、もしかしたら館の運営も大きく変わる可能性があるのなら、専門家の意見がどこかで反映されて、今までの実績や運営を踏まえた上での検討をしっかりとしてもらいたいと思いますので、検討の仕方も含めて、博物館協議会からそういった意見が出たということも踏まえていただければと思います。
進藤委員	市長が変わったことによる影響は、どれぐらいあるのでしょうか。こういう計画は、基本的に市の全体の方針に従って立てないと意味がないですよ。変わったばかりなので、方針が固まるまで、まだしばらく時間がかかるのではないかと思います。
事務局	少なくとも、こども科学館にとって悪い方向の影響はないと考えています。プラネタリウムを更新したほうがいいのか、館を今後継続したほうがいいのか、検討を継続している状況ですので、それらをはっきり示した中で、最終的に市長判断をいただいて、更新ができるように進めたいと考えています。
進藤委員	もう一点、新規の策定が延長されるのは、そういう事情があるので分かるのですが、その場合、現行計画の終期が延長されていることに若干違和感があるというか、ここで終わらせられなかったことと完了できたことがあると思うのですが、延長というのは、通常営業をこの計画に従って続けながら、新しいことはしばらく凍結するわけですよ。新規の事業は、次の計画が定まらないと行動は起こせないと思うのですが、そういう理解でよろしいですか。
事務局	この計画の中でも、様々な事業者との連携があるのですが、この計画を終わらせてしまうと、こども科学館の新たな方向性が決まるまで何もない状態になってしまうということと、この計画期間、令和元年度から5年度という、ま

	さにコロナの3年間が入ってしまっていて、計画どおりに進められなかったということもあります。内容的には全然古いものではなく、これから取り組むべき内容が書かれていますので、もう1年延長したいという考えで議題として出させていただきます。
進藤委員	趣旨としては、コロナで数年間ストップして進んでいないものがあるので、その推進に充てつつ、次の計画策定をしているところだという理解でよろしいですか。
事務局	そのとおりです。
國方副会長	次のアクションを決めるのに、ここはいいけど、ここは何とかしなきゃいけないというのが、きっとあるはずですよ。そこで、来館者の意見とか、ほかの事業者が持っている知見を生かさなければいけないと思うので、先ほどのアンケートの話もそうですが、単に満足するか、しないかだけではなく、何をもってして、こども科学館が認められているのか。それがあれば、強力なエビデンスになるはず。ぜひそういったものもしっかり取って、この館をどうしていくのかを考えたほうがいいと思いました。
馬場委員	あと、板橋の科学館は指定管理者制度ですね。指定管理のいい悪いはあったとしても、外部の意見を取り入れて、改善を図っていくことも含めて進めてほしいと思います。 板橋区の指定管理者制度でも、教育委員会の生涯学習課と定期的に意見交換しながら進めている。財団の人も、その方面でしっかりした見識を持っていて、その顧問の方は、科学未来館の研究員をやっていた人だと言っていました。館長も運営に長くたずさわっていて、そういう理念、考え方を持って運営しているということで、館の運営としては、一定の評価ができると思います。
國方副会長	ちなみに、板橋の科学館の指定管理者は、おとしあたりに事業者が交代しています。実は、前の事業者はよく知っているとこで、館長が私の知り合いで、一緒に事業をやったことがあって。当時もいろいろ話を聞いて、御苦労はあるのですけれども、あるなりに、民間のいろいろな考え方を取り入れてやろうとしている姿勢がうかがえ、そういった取組が必要だと思いました。
馬場委員	板橋ですごく印象に残っているのは、サイエンスというのを屋台で持ち出すという表現をしていた。どういうことかということ、屋台は野外で展開するじゃないですか。科学的な実験装置などを館の外へ持ち出して、市民と交流しながらやっていくというようなことを語っていました。まだ

	実現していないようだったけれども、そういう方向性として、館の中で完結するのではなくて、外へ出て行ってやるという、新しい取組だと感じたのです。そういう情報を得てくると、よろしいのではないでしょうか。
	3. その他
鎌倉会長	議題（3）に移ります。事務局から説明願います。 ・ Innovate MUSEUM事業の実施について ・ 集いの拠点整備工事の着工について
	— 事務局職員による説明 — （関連配付物説明及び動画視聴あり）
鎌倉会長	ご質問はありますか。
國方副会長	社会課題を解決していくために、博物館として新たな取組をされているのは、非常にいいと思っています。ぜひ一緒に科学館も巻き込んで、新たな展開があるといいと思っています。話を派生させると、歴史と科学技術は不可分な存在だと私はと思っています。例えば土器一つとっても、あれは技術のかたまりなわけで、ただ単に歴史的意義があるだけではなく、科学的に見たらどうなのか、それが現代だったら、どういうふうになっているのだろうかという考察を加えると、より深くなっていくわけです。なので、そういった取組を歴史と科学という両面で捉えていくことを試してもいいというか、僕はそういうものを期待しているので、ぜひ、その取組もやってみてほしいと思っています。
馬場委員	Innovate MUSEUMは、八王子市もいよいよこういう取組をするようになったのかと。回想法は、20年ぐらい前、北名古屋でやっているのを見たことがあります。もっと先、50年ぐらい前に学芸員をやっていたことがあって、ある小さな博物館で、来た人が一番わくわくするのは、古い道具がある場所なのです。さっき土器を見ていたときは、みんな黙って見ていたけれども、そこへ来たらわいわい言って、そういうものに関心があるのだなと思っていたら、回想法というのが2000年前後ぐらいから始まり、非常にいい取組だと思ったことがあります。やはり、物を見せるということですよね。北名古屋の取組は、博物館からちょっと離れたところに高齢者施設があって、そこで事業展開していると言っていました。郷土資料館では、

	既に高齢者の福祉施設の方と交流しながら企画しているいいことだと思ったけれど、体験型が多いと思いました。お手玉や、まゆ玉をつくるとか、それもすごく効果があると思うけれど、やはり博物館で古い物、当時使っていたものを見ると、ああ、これあった、これ使っていたなんて、話題になるのです。博物館は、そういう体験型とプラスアルファをどう結びつけていくかということをやっておられると思うので、そういうことも視野に活動されるといいと思っています。私も後期高齢者だから、切実な問題として、ぜひ活発にやっていただければと思います。 鎌倉会長 私も Innovate MUSEUM は良い取組だと思ったのですが、提供するだけじゃなくて、白地図の取組から情報を得られるというか、博物館側の資源にもなっていく部分もあるのではないかと思いますので、館としてのメリット、文化財的なメリットも含めて考えていただけるといいと思いました。 事務局 参加者に、昔の写真をお持ちいただいて、それを寄贈していただけるといいなといったところも、狙いとしてはございました。 鎌倉会長 そういうことも含めて考えていただけるとよいですね。 鎌倉会長 これにて議題は全て終了いたしました。最後に次回の開催予定について、事務局からお願いします。 事務局 次回開催は、2月中旬を予定しております。12月中旬に日程調整をお願いいたします。 鎌倉会長 以上で令和6年度第2回八王子市博物館協議会を閉会いたします。長時間にわたりありがとうございました。 【閉会】
--	--